# 令和８年度 輪島市下水道事業 再構築基本設計
# （ストックマネジメント実施計画）作成業務

# 一般仕様書

## 第１章　総　則

1.1　業務の目的

本委託業務（以下、「業務」という。）では，本仕様書に基づいて，特記仕様書に示す委託対象施設について、リスク評価を踏まえ、明確かつ具体的な施設管理目標及び長期的な改築シナリオを設定し、点検・調査計画及び修繕・改築計画を作成することを目的とする。

1.2　一般仕様書の適用範囲

業務は，本仕様書に従い施行しなければならない。ただし、特別な仕様については、特記仕様書に定める仕様に従い施行しなければならない。

1.3　費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

1.4　法令等の遵守

受注者は、業務の実施に当り、関連する法令等を遵守しなければならない。

1.5　中立性の保持

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

1.6　秘密の保持

受注者は、業務の遂行上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

1.7　公益確保の義務

受注者は、業務を行うに当っては公共の安全、環境の保全、その他の公益を害することのないように努めなければならない。

1.8　提出書類

受注者は、業務の着手及び完了に当って、輪島市の契約約款に定めるものの外、以下の書類を提出しなければならない。

（イ）着手届　（ロ）工程表　（ハ）管理技術者届　（ニ）職務分担表

（ホ）完了届　（ヘ）納品書　（ト）業務委託料請求書等

なお，承認された事項を変更しようとするときは、そのつど承認を受けるものとする。

1.9　管理技術者及び技術者

(1)　受注者は，管理技術者及び技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。

(2)　管理技術者は、技術士（総合技術監理部門（下水道），上下水道部門（下水道））又は下水道法に規定された資格を有するものとし、業務の全般にわたり技術的管理を行わなければならない。

なお、主要な設計協議ならびに現地調査に出席しなければならない。

(3)　受注者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

1.10　工程管理

受注者は、工程に変更を生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

1.11　成果品の審査及び納品

(1)　受注者は、成果品完成後に輪島市の審査を受けなければならない。

(2) 成果品の審査において、訂正を指示された箇所は、ただちに訂正しなければならない。
(3) 業務の審査に合格後、成果品一式を納品し、輪島市の検査員の検査をもって、業務の完了とする。
(4) 業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務の瑕疵が発見された場合、受注者はただちに当該業務の修正を行わなければならない。

1.12 関係官公庁等との協議

受注者は、関係官公庁等と協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれに当り，この内容を遅滞なく報告しなければならない。

1.13 証明書の交付

必要な証明書及び申請書の交付は、受注者の申請による。

1.14 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、又は本仕様書に定めのない事項については、輪島市と受注者協議のうえ、これを定める。

## 第２章 実施方針策定一般

2.1 打合せ

(1) 業務の実施に当って、受注者は輪島市と密接な連絡を取り、その連絡事項をそのつど記録し、打合せの際、相互に確認しなければならない。
(2) 設計業務着手時及び設計業務の主要な区切りにおいて、受注者と輪島市は打合せを行うものとし、その結果を記録し、相互に確認しなければならない。

2.2 実施方針策定基準等

設計に当っては、輪島市の指定する図書及び本仕様書第 6 章参考図書に基づき業務を行わなければならない。また、設計を行う上で基準となる事項については、輪島市と協議のうえ、定めるものとする。

2.3 実施方針策定上の疑義

設計上疑義が生じた場合は、輪島市と協議のうえ、これらの解決にあたらなければならない。

2.4 実施方針策定の資料

設計の計算根拠、資料等はすべて明確にし、整理して提出しなければならない。

2.5 参考資料の貸与

輪島市は、業務に必要な下水道事業計画図書、設計図書、竣工図書、土質調査書、測量成果書、下水道台帳及び調書等の資料を所定の手続によって貸与する。

2.6 参考文献等の明記

業務に文献、その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記しなければならない。

## 第３章 ストックマネジメント実施方針（ポンプ場・終末処理場）

ストックマネジメント実施方針（ポンプ場・終末処理場）は、長期的視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進捗状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改築を実施し、施設全体を対象とした施設管理を最適化することを目的として策定する。

3.1 施設情報の収集・整理

終末処理場・ポンプ場施設の管理目標の設定、リスク検討、点検・調査計画及び改築・修繕計画の検討に必要な施設情報の収集・整理、現地確認等を行う。

収集すべき資料は次のとおりとする。

(1) 施設情報収集・整理

（イ）上位計画に関する情報の収集・整理

① 地方公共団体のビジョン
② 地域の将来計画
③ 下水道ビジョン等

（ロ）関連計画に関する情報の収集・整理
① 下水道計画（全体計画，事業計画）
② 災害対策計画（地震・津波対策計画，浸水対策計画）
③ 合流改善計画
④ 地球温暖化対策計画等

（ハ）諸元に関する情報の収集・整理
① 名称
② 設置年度及び設置価格
③ 所在地
④ 形状寸法，形式，能力，容量，仕様等

（ニ）リスクの検討に関する情報の収集・整理
① 点検・調査結果
② 地盤情報、地震被害予測資料、ハザードマップ、機能停止時の影響予測資料、影響度
③ 施設の周辺環境条件等

（ホ）点検・調査に関する情報の収集・整理
① 設計図書、竣工図書
② 施設状態（劣化の程度）
③ 維持管理履歴（修繕記録、事故・故障記録、診断記録）等

（ヘ）改築・修繕に関する情報の収集・整理
① 経過年数
② 標準耐用年数
③ 改築費用（または改築単価）
④ 緊急度、健全度等
⑤ 運転及び水質記録等

(2) 施設情報の作成

施設情報（施設台帳）が作成されていない場合は、収集した施設情報を基に、新たに小分類単位を基にした施設情報（施設台帳）を作成する。（データベースの構築は含まない。）

施設情報（施設台帳）の内容は、構造、形状寸法、形式、台数、取得価格、設置年度、改築年度、その他の施設情報とし、電子データ化を行う。

(3) 現地調査

既存の施設情報収集で得られた情報に基づき、目視による施設の確認及び維持管理担当者へのヒヤリングを行う。

3.2 点検・調査の実施

点検・調査計画に基づき、健全度の設定に必要な調査を実施する。

点検・調査情報をとりまとめ、定期的見直しによる精度向上に活用する。

3.3 修繕・改築計画の策定

基本方針では、点検・調査結果に基づき施設の劣化状況を把握し、長期的な改築事業のシナリオ設定を踏まえ、事業計画期間を勘案し、概ね 5～7 年程度における改築の優先順位を設定する。

実施計画では、どの施設を、いつ、どのように、どの程度の費用をかけて、修繕・改築を行うかを検討

する。

(1)　（基本方針）診断・対策の必要性の検討

健全度評価のため、判断基準を設定し、現在の健全度を評価する。また、診断結果及び点検結果に基づき、対策の必要性を検討する。

(2)　（基本方針）優先順位の検討

機能向上に関する事業など関連計画を考慮して、修繕・改築に関する優先順位を検討する。

また、処理場・ポンプ場設備の優先順位の設定にあたり、設備群としてまとまった修繕・改築を実施した方が効率的な場合には、設備群単位で優先順位を調整する。

(3)　（実施計画）対策範囲の検討

基本方針で、対策が必要と位置づけた設備について、修繕か改築かを判定する。

なお、修繕か改築かの判定結果に加え、設備の重要度や最適な改築シナリオの事業費等を考慮して、5～7 年の対策範囲を設定する。

(4)　（実施計画）長寿命化対策検討対象設備の選定

管理方法（状態監視保全，時間計画保全，事後保全）を踏まえた、長寿命化対策検討対象設備を選定する。

(5)　（実施計画）改築方法の検討

対策が必要とされた長寿命化対策検討対象設備は、必要に応じてライフサイクルコストの比較を行い，更新あるいは長寿命化対策を選定する。

また、個々の設備の対策に加え、必要に応じ設備群として（省エネルギー、省資源化、効率化等）総合的な検討を行う。

(6)　（実施計画）実施時期と概算費用の検討

(3)を踏まえた修繕・改築計画を策定する。

(7)　（実施計画）修繕・改築計画のとりまとめ

(1)～(6)の検討結果を修繕・改築計画としてとりまとめる。

3.4　関係機関への説明資料作成

ポンプ場・終末処理場施設のストックマネジメント基本計画の策定に当り、住民及び財政部局や議会等関係機関にその内容を説明し意見聴衆等を行うなど、理解と協力を得るための方策を検討する。

また、方策の実行に必要な説明資料等を作成する。

3.5　報告書作成

本業務で、収集した資料、各種検討内容を整理し、報告書としてとりまとめる。

また、終末処理場施設のストックマネジメント基本計画書の概要版を作成する。

## 第4章　照　査

4.1　照査の目的

受注者は業務を施行するうえで技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、さらに照査を実施し、設計図書に誤りがないよう努めなければならない。

4.2　照査の体制

受注者は遺漏なき照査を実施するため、相当な技術経験を有する照査技術者を配置しなければならない。

4.3　照査事項

受注者は、設計全般にわたり、次に示す事項について、照査を実施しなければならない。

(1)　情報収集の内容及び課題の把握・整理内容に関する照査

(2) 検討方法及びその内容に関する照査

(3) 計画の妥当性（方針，設定条件等）の照査

(4) 上位計画、地震対策計画、浸水対策計画、合流改善計画等との相互における整合性に関する照査

## 第５章　提出図書

5.1 提出図書

(1) 提出すべき成果品とその部数は次のとおりとする。なお、製本はすべて白焼きとする。

| 図書名 | 形状寸法・提出部数 |
|---|---|
| （イ）報告書 | A4・3 部 |
| （ロ）点検・調査計画図 | 原図一式・白焼き 3 部 |
| （ハ）修繕・改築計画図 | 原図一式・白焼き 3 部 |
| （ニ）打合せ議事録 | A4・3 部 |
| （ホ）その他参考資料 | 原稿一式 |
| （ヘ）上記図書の電子成果品 | CD-R 又は DVD-R　一式 |

(2) 成果品の作成に当っては、その編集方法についてあらかじめ輪島市と協議する。

(3) 製本はすべて表紙、背表紙ともタイトルをつけ、直接印刷とする。

# 第６章　参考図書

## 6.1　参考図書

業務は、以下に掲げる最新版図書を参考にして行うものとする。

(1)　輪島市の下水道標準構造図

(2)　輪島市の下水道維持管理指針

(3)　輪島市の下水道改築マニュアル

(4)　下水道事業における事業マネジメント実施に関するガイドライン（国土交通省）

(5)　下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン（国土交通省）

(6)　下水道施設計画・設計指針と解説（公益社団法人 日本下水道協会）

(7)　下水道維持管理指針（公益社団法人 日本下水道協会）

(8)　小規模下水道施設マネジメント指針と解説（公益社団法人 日本下水道協会）

(9)　下水道施設の耐震対策指針と解説（公益社団法人 日本下水道協会）

(10)　合流式下水道改善対策指針と解説（公益社団法人 日本下水道協会）

(11)　下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル（地方共同法人 日本下水道事業団）

# 令和８年度 輪島市下水道事業 再構築基本設計
# （ストックマネジメント実施計画）作成業務

# 特記仕様書

1．特記仕様書の適用範囲

この仕様書は、「令和８年度 輪島市下水道事業 再構築基本設計（ストックマネージメント実施計画）作成業務一般仕様書第１章 1.1 及び 1.2 に定める特記仕様書」とし、この仕様書に記載されていない事項は一般仕様書による。

2．業務委託の対象

2.1.1　ポンプ場（令和６年度全体計画より）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| (1)名称 | | 堀町ポンプ場 | 河井町ポンプ場 | マンホールポンプ場（全 64 箇所、修繕・改築対象 51 個所） |
| (2)位置 | | 堀町　地内 | 河井町　地内 | 市内全域 |
| (3)下水排除方式 | | 分流式汚水 | 分流式汚水 | 分流式汚水 |
| (4)能力(m3/秒) | 計画時間最大汚水量 | 0.076 | 0.034 | 0.05×64 個所<br>0.05×51 箇所 |
| | 既設能力 | | | |
| (5)沈砂池の有無 | | 無 | 無 | ― |
| (6)供用開始年月 | | | | |

2.1.2　終末処理場（令和６年度　全体計画より）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| (1) 名称 | | 輪島市浄化センター | 門前水質管理センター | 剱地浄化センター |
| (2) 位置 | | 山本町　地内 | 門前町道下　地内 | 門前町剱地　地内 |
| (3) 下水排除方式 | | 分流式 | 分流式 | 分流式 |
| (4) 処理方式 | 水処理 | オキシデーションディッチ | オキシデーションディッチ | オキシデーションディッチ |
| | 汚泥処理 | 濃縮＋脱水 | 濃縮＋脱水 | 濃縮＋脱水 |
| (5) 能力(m3/日) | 計画１日最大処理水量 | 6,000 m3/日 | 1,300 m3/日 | 380 m3/日 |
| | 既設能力 | | | |
| (6) 供用開始年月 | | | | |
| (7) 焼却炉（溶融炉）の有無 | | 無 | 無 | 無 |
| (8) コンポスト化施設の有無 | | 無 | 無 | 無 |

3. その他特記事項

＜参考＞

(1) 作業内容

「作業の有無」の欄に○印を付ける

| 作業内容 | 作業の有・無 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 1. 施設情報の収集・整理 | ○ | |
| 2. リスクの評価 | － | |
| 3. 施設管理の目標設定 | － | |
| 4. 長期的な改築事業シナリオ設定 | － | |
| 5. 点検・調査計画の策定 | － | |
| 6. 点検・調査の実施 | ○ | |
| 7. 修繕・改築計画の策定 | ○ | |
| 8. 関係機関への説明資料作成 | ― | |
| 9. 照査 | ○ | |
| 10. 報告書作成 | ○ | |

(2) ポンプ場・終末処理場施設の工種及び対策対象施設

「今回対策対象業務」の欄に○印を付ける

【点検・調査】

堀町ポンプ場

| 施設名 | 土木 | 建築 | 機械 | 電気 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流入きょ | － | － | － | － | |
| 沈砂池・ポンプ室 | － | － | － | － | |
| ポンプ室 | ○ | － | ○ | － | |
| 流出きょ | － | － | － | － | |
| 吐　口 | － | － | － | － | |

河井町ポンプ場

| 施設名 | 土木 | 建築 | 機械 | 電気 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流入きょ | － | － | － | － | |
| 沈砂池・ポンプ室 | － | － | － | － | |
| ポンプ室 | ○ | － | ○ | － | |
| 流出きょ | － | － | － | － | |
| 吐　口 | － | － | － | － | |

マンホールポンプ場 51 箇所

| 施設名 | 土木 | 建築 | 機械 | 電気 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流入きょ | － | － | － | － | |
| 沈砂池・ポンプ室 | － | － | － | － | |
| ポンプ室 | － | － | ○ | － | |
| 流出きょ | － | － | － | － | |
| 吐　口 | － | － | － | － | |

【修繕・改築】

堀町ポンプ場

| 施設名 | 土木 | 建築 | 機械 | 電気 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流入きょ | － | － | － | － | |
| 沈砂池・ポンプ室 | － | － | － | － | |
| ポンプ室 | ○ | － | ○ | ○ | |
| 流出きょ | － | － | － | － | |
| 吐　口 | － | － | － | － | |

河井町ポンプ場

| 施設名 | 土木 | 建築 | 機械 | 電気 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流入きょ | － | － | － | － | |
| 沈砂池・ポンプ室 | － | － | － | － | |
| ポンプ室 | ○ | － | ○ | ○ | |
| 流出きょ | － | － | － | － | |
| 吐　口 | － | － | － | － | |

マンホールポンプ場 51 箇所

| 施設名 | 土木 | 建築 | 機械 | 電気 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流入きょ | － | － | － | － | |
| 沈砂池・ポンプ室 | － | － | － | － | |
| ポンプ室 | － | － | － | ○ | |
| 流出きょ | － | － | － | － | |
| 吐　口 | － | － | － | － | |

【点検・調査】

輪島市浄化センター

| 施設名 | 土木 | 建築 | 機械 | 電気 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流入きょ | － | － | － | － | |
| 沈砂池・ポンプ室 | ○ | － | － | － | |
| ポンプ室 | － | － | － | － | |
| 沈砂池 | － | － | － | － | |
| 導水きょ | － | － | － | － | |
| 汚水調整池 | － | － | － | － | |
| ﾌﾟﾘｴｱﾚｰｼｮﾝﾀﾝｸ | － | － | － | － | |
| 最初沈殿池 | － | － | － | － | |
| 反応タンク | － | － | ○ | － | |
| 酸素発生装置 | － | － | － | － | |
| 最終沈殿池 | ○ | － | ○ | － | |
| 急速ろ過施設 | － | － | － | － | |
| 塩素消毒施設 | － | － | － | － | |
| 放流きょ | － | － | － | － | |
| 吐口 | － | － | － | － | |
| 汚泥濃縮（重力式） | ○ | － | ○ | － | |
| 汚泥濃縮（機械式） | － | － | － | － | |
| 汚泥洗浄タンク | － | － | － | － | |
| 汚泥消化タンク | － | － | － | － | |
| ガスブロワ室 | － | － | － | － | |
| ボイラー室 | － | － | － | － | |
| 管理棟 | － | － | － | － | |
| 自家発電機室 | － | － | － | － | |
| 汚泥処理棟 | － | － | ○ | － | |
| 処理水再利用施設 | － | － | － | － | |
| 送風機室 | － | － | － | － | |
| 汚泥焼却炉 | － | － | － | － | |
| 汚泥コンポスト化施設 | － | － | － | － | |
| 独立管廊 | － | － | － | － | |

門前水質管理センター

| 施設名 | 土木 | 建築 | 機械 | 電気 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流入きょ | ― | ― | ― | ― | |
| 沈砂池・ポンプ室 | ○ | ― | ○ | ― | |
| ポンプ室 | ― | ― | ― | ― | |
| 沈砂池 | ― | ― | ― | ― | |
| 導水きょ | ― | ― | ― | ― | |
| 汚水調整池 | ― | ― | ― | ― | |
| ﾌﾟﾘｴｱﾚｰｼｮﾝﾀﾝｸ | ― | ― | ― | ― | |
| 最初沈殿池 | ― | ― | ― | ― | |
| 反応タンク | ○ | ― | ○ | ― | |
| 酸素発生装置 | ― | ― | ― | ― | |
| 最終沈殿池 | ○ | ― | ○ | ― | |
| 急速ろ過施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 塩素消毒施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 放流きょ | ― | ― | ― | ― | |
| 吐口 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥濃縮（重力式） | ○ | ― | ○ | ― | |
| 汚泥濃縮（機械式） | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥洗浄タンク | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥消化タンク | ― | ― | ― | ― | |
| ガスブロワ室 | ― | ― | ― | ― | |
| ボイラー室 | ― | ― | ― | ― | |
| 管理棟 | ― | ○ | ― | ― | |
| 自家発電機室 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥処理棟 | ― | ― | ○ | ― | |
| 処理水再利用施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 送風機室 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥焼却炉 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥コンポスト化施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 独立管廊 | ― | ― | ― | ― | |

剱地浄化センター

| 施設名 | 土木 | 建築 | 機械 | 電気 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流入きょ | ― | ― | ― | ― | |
| 沈砂池・ポンプ室 | ― | ― | ― | ― | |
| ポンプ室 | ― | ― | ― | ― | |
| 沈砂池 | ― | ― | ― | ― | |
| 導水きょ | ― | ― | ― | ― | |
| 汚水調整池 | ― | ― | ― | ― | |
| ﾌﾟﾘｴｱﾚｰｼｮﾝﾀﾝｸ | ― | ― | ― | ― | |
| 最初沈殿池 | ― | ― | ― | ― | |
| 反応タンク | ― | ― | ― | ― | |
| 酸素発生装置 | ― | ― | ― | ― | |
| 最終沈殿池 | ― | ― | ― | ― | |
| 急速ろ過施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 塩素消毒施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 放流きょ | ― | ― | ― | ― | |
| 吐口 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥濃縮（重力式） | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥濃縮（機械式） | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥洗浄タンク | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥消化タンク | ― | ― | ― | ― | |
| ガスブロワ室 | ― | ― | ― | ― | |
| ボイラー室 | ― | ― | ― | ― | |
| 管理棟 | ― | ― | ― | ― | |
| 自家発電機室 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥処理棟 | ― | ― | ― | ― | |
| 処理水再利用施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 送風機室 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥焼却炉 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥コンポスト化施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 独立管廊 | ― | ― | ― | ― | |

【修繕・改築】

輪島市浄化センター

| 施設名 | 土木 | 建築 | 機械 | 電気 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流入きょ | － | － | － | － | |
| 沈砂池・ポンプ室 | － | － | － | － | |
| ポンプ室 | － | － | － | － | |
| 沈砂池 | － | － | － | － | |
| 導水きょ | － | － | － | － | |
| 汚水調整池 | － | － | － | － | |
| ﾌﾟﾘｴｱﾚｰｼｮﾝﾀﾝｸ | － | － | － | － | |
| 最初沈殿池 | － | － | － | － | |
| 反応タンク | － | － | ○ | ○ | |
| 酸素発生装置 | － | － | － | － | |
| 最終沈殿池 | ○ | － | ○ | ○ | |
| 急速ろ過施設 | － | － | － | － | |
| 塩素消毒施設 | － | － | － | － | |
| 放流きょ | － | － | － | － | |
| 吐口 | － | － | － | － | |
| 汚泥濃縮（重力式） | ○ | － | ○ | ○ | |
| 汚泥濃縮（機械式） | － | － | － | － | |
| 汚泥洗浄タンク | － | － | － | － | |
| 汚泥消化タンク | － | － | － | － | |
| ガスブロワ室 | － | － | － | － | |
| ボイラー室 | － | － | － | － | |
| 管理棟 | － | － | － | － | |
| 自家発電機室 | － | － | － | ○ | |
| 汚泥処理棟 | － | － | ○ | ○ | |
| 処理水再利用施設 | － | － | － | － | |
| 送風機室 | － | － | － | － | |
| 汚泥焼却炉 | － | － | － | － | |
| 汚泥コンポスト化施設 | － | － | － | － | |
| 独立管廊 | － | － | － | － | |

門前水質管理センター

| 施設名 | 土木 | 建築 | 機械 | 電気 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流入きょ | ― | ― | ― | ― | |
| 沈砂池・ポンプ室 | ○ | ― | ○ | ○ | |
| ポンプ室 | ― | ― | ― | ― | |
| 沈砂池 | ― | ― | ― | ― | |
| 導水きょ | ― | ― | ― | ― | |
| 汚水調整池 | ― | ― | ― | ― | |
| ﾌﾟﾘｴｱﾚｰｼｮﾝﾀﾝｸ | ― | ― | ― | ― | |
| 最初沈殿池 | ― | ― | ― | ― | |
| 反応タンク | ― | ― | ○ | ○ | |
| 酸素発生装置 | ― | ― | ― | ― | |
| 最終沈殿池 | ― | ― | ○ | ○ | |
| 急速ろ過施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 塩素消毒施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 放流きょ | ― | ― | ― | ― | |
| 吐口 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥濃縮（重力式） | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥濃縮（機械式） | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥洗浄タンク | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥消化タンク | ― | ― | ― | ― | |
| ガスブロワ室 | ― | ― | ― | ― | |
| ボイラー室 | ― | ― | ― | ― | |
| 管理棟 | ― | ― | ― | ○ | |
| 自家発電機室 | ― | ― | ― | ○ | |
| 汚泥処理棟 | ― | ― | ○ | ○ | |
| 処理水再利用施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 送風機室 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥焼却炉 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥コンポスト化施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 独立管廊 | ― | ― | ― | ― | |

剱地浄化センター

| 施設名 | 土木 | 建築 | 機械 | 電気 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流入きょ | ― | ― | ― | ― | |
| 沈砂池・ポンプ室 | ― | ― | ― | ― | |
| ポンプ室 | ― | ― | ― | ― | |
| 沈砂池 | ― | ― | ― | ― | |
| 導水きょ | ― | ― | ― | ― | |
| 汚水調整池 | ― | ― | ― | ― | |
| ﾌﾟﾘｴｱﾚｰｼｮﾝﾀﾝｸ | ― | ― | ― | ― | |
| 最初沈殿池 | ― | ― | ― | ― | |
| 反応タンク | ― | ― | ― | ― | |
| 酸素発生装置 | ― | ― | ― | ― | |
| 最終沈殿池 | ― | ― | ― | ― | |
| 急速ろ過施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 塩素消毒施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 放流きょ | ― | ― | ― | ― | |
| 吐口 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥濃縮（重力式） | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥濃縮（機械式） | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥洗浄タンク | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥消化タンク | ― | ― | ― | ― | |
| ガスブロワ室 | ― | ― | ― | ― | |
| ボイラー室 | ― | ― | ― | ― | |
| 管理棟 | ― | ― | ― | ― | |
| 自家発電機室 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥処理棟 | ― | ― | ― | ― | |
| 処理水再利用施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 送風機室 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥焼却炉 | ― | ― | ― | ― | |
| 汚泥コンポスト化施設 | ― | ― | ― | ― | |
| 独立管廊 | ― | ― | ― | ― | |

(3) 補正

「補正項目の有・無」の欄に○印を付ける

| 補正項目 | 有・無 |
|---|---|
| 設計対象水量に係る補正 | ○ |
| 複数施設に係る補正 | ○ |
| 沈砂池に係る補正 | ○ |
| 処理方式に係る補正 | ○ |
| 焼却炉（溶融炉）及び汚泥コンポスト化施設に係る補正 | － |